

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8239
担当部課名	経済部	農政	課	農地整備 係
事務事業名	農業農村整備事業実施計画策定事業		事業コード	31530

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	立地特性を生かした産業振興をめざします	事業開始年度
基本施策名	第5節	都市農業の振興	13年度
施策名	第3施策	農地の保全と農業基盤の整備	

2 実施根拠及び関連法令等

地域用水環境整備事業実施要綱

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
地域用水環境整備事業(国庫補助事業)の実施に先立ち、環境整備に対する事業効果算定の実施が求められる。 本事業は事業採択に向けた費用対効果の算定、学識経験者を主体メンバーとする技術検討会を実施し、事業採択を受けることを目的とした業務を行う。		整備箇所から5km圏内の住民 対象数 102,998世帯	
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
農業農村整備事業実施計画策定業務委託 ・委託内容 技術検討会(学識経験者による) CVM調査(経済効果アンケート) ・対象地区 望地地区・諏訪森下地区		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～年度

4 評価指標

指標名			
指標式			
指標設定の意図			

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標			a	b	
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額		2,489	2,600	
	人員・時間数		152h	152h	
	人件費		636	636	
	その他経費				
	合計	0	3,125	3,236	0
特定財源			1,200	1,200	

6 個別評価

(1) 達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 A ▼	A : 達成している (100%) B : 一部達成していない(100%> 80%) C : 達成していない (80%>)	= 、 、 の平均値 =
$\frac{a}{b} \times 100 =$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
理由 :		
(2) 必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している B : 一部適応していない C : 適応していない	理由 : 地域用水環境整備事業は農業用水利施設の有する水辺空間を活用し、豊かで快適な生活環境を創造する目的で実施されるもの。
(3) 経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である B : 一部妥当でない C : 妥当でない	理由 : 本事業は国50%、県10%の補助金により実施されるものであり、市の負担額に対する事業効果は非常に高い。
(4) 事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない B : 代替の可能性低い C : 代替の可能性高い	理由 : 本事業は、市営事業とし国(50%)及び県(10%)の補助金が充当されるものであり整備規模、事業内容等からも市で実施することが妥当であると考えられる。
(5) 市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 B ▼	A : 満足できる B : 一部満足できない C : 満足できない	理由 : CVMアンケート調査の自由意見の中において、整備内容等多岐にわたる要望があり、すべての意見を取り入れることは困難である。
(6) 有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である B : 一部有効である C : 有効でない	理由 : 農地と周辺環境に配慮した整備を実施するもの。

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 今後の実施設計、整備を行う上で、技術検討会、アンケート結果等を反映させる。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 本事業は農林水産大臣から認可を受け、営利を目的としない技術開発を行っている唯一の団体に委託を行うものであるため、コスト改善の余地はない。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	県営事業及び、他市の事例と比較しても、今回計画地の立地条件(自然環境)等は非常に優れているものがあり、自然環境に配慮した整備が必須である。
今後の進め方			
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	本事業は今後の地域用水環境整備事業において実施する、ホタルやホトケドジョウ等の水路内の多様な生物の保全、水路沿いのあぜ道の整備及び隣接するキャンプ場との連携により、農業や生き物とのふれあい空間を創出する整備のための計画策定であり、実施に際してはアンケート結果、技術検討会の報告を整備に反映させる。 当該整備においては文部省との連携を持った「あぜ道とせせらぎ」づくり事業に地区登録を行い子供たちの体験活動の場としてのPRを行う予定である。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--